

福島第一原子力発電所 多核種除去設備等処理水に関する 設備の検討に必要な海域での地質調査の完了について

< 参 考 資 料 >
2021年12月27日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 多核種除去設備等処理水の取扱いについては、政府の基本方針（本年4月に決定）を踏まえ、安全性の確保を大前提に、風評影響を最大限抑制するための対応を徹底するべく、設備の設計や運用等の検討の具体化を進めています。本年8月25日、これらの検討状況について公表しました。
- そのうち、取水・放水設備は、港湾外から海水を取水し、海底トンネル（約1km）を経由して放出する案とし、関係するみなさまからのご意見等を伺いながら、引き続き検討を進めています。
- 同設備の詳細検討や工事の安全確保に向けて、地質データの把握に必要となる海域での「磁気探査調査」を11月27日に実施し、調査対象エリアの海底に支障物がないことを確認したことから、本調査結果を踏まえ、「地質調査」を12月1日以降開始します。
〔2021年11月29日までにお知らせ済み〕
- 予定していた3地点において、12月14日から地質サンプルの採取および地盤の固さを測定する試験を順次実施し、12月24日に本調査を完了しました。
- 放水設備の詳細検討や工事の安全を確保するため、ボーリングで採取した地質サンプルについて、今後、岩盤の強度特性や物理特性（比重や粒度分布等）を確認します。
- また、調査中に実施した海水モニタリングでは、有意な変動は確認されていません。

地質調査（海上ボーリング調査）実績

| | 調査開始 | 調査完了 | 速報結果 |
|-----------|-------|-------|---------|
| 沖合 1,000m | 12/19 | 12/20 | 想定岩盤を確認 |
| 沖合 700m | 12/14 | 12/18 | 想定岩盤を確認 |
| 沖合 400m | 12/21 | 12/24 | 想定岩盤を確認 |

(参考) 地質調査 (海上ボーリング) 時の海水モニタリング結果

➤ 実施概要

地質調査 (海上ボーリング) において、調査範囲について作業開始前、作業開始後に海水サンプリングを行い、調査による海水中セシウム濃度に有意な変動がないかを確認しました。

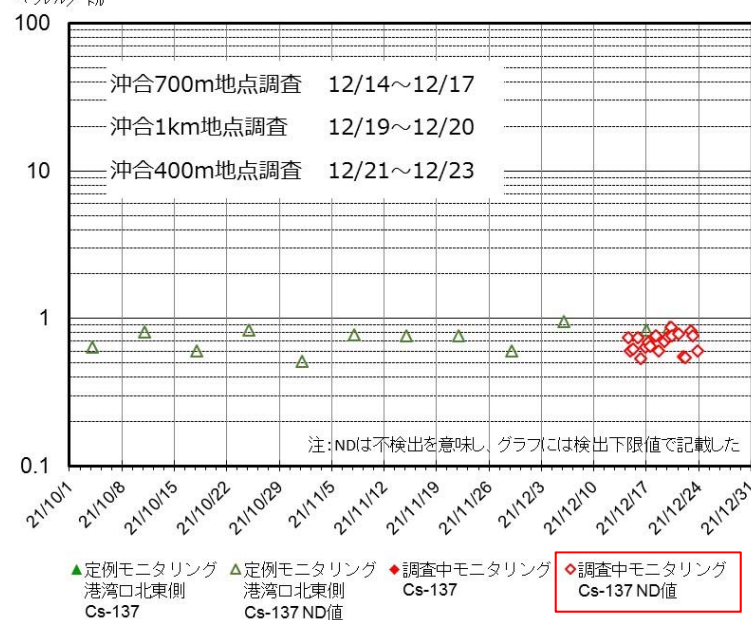
➤ 実施内容

12月14日から12月23日の間、作業場所周辺において、作業開始前、作業開始後に海水中セシウム濃度のモニタリングを実施しました。

➤ 結果

モニタリング結果は、全て不検出であり、調査に伴う有意な変動は確認されませんでした。

海上ボーリング調査期間中の海水モニタリング結果 (Cs-137濃度)



(参考) 地質調査 (海上ボーリング) 写真

